

今月の3冊^{プラス}1



精神疾患をもつ人を、 病院でない所で支援するときこそまず読む本 “横綱級”困難ケースにしないための技と型

著：小瀬古伸幸
発行：医学書院 TEL：03-3817-5657
定価：本体 2000 円＋税

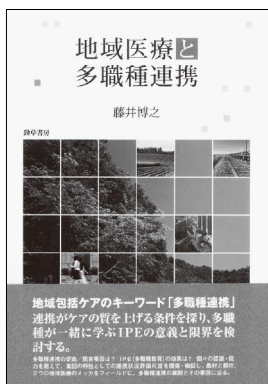
病院以外の場所での精神疾患をもつ人への支援において、対人関係的な困難さを感じさせる利用者のケースを“横綱級”困難ケースと呼び、そうならないための対応技と必須の型を解説する。この技と型の実践で利用者は「難しい人」ではなく、「自分も相手も楽になる」。地域で精神疾患をもつ人の支援に関わるならば、まず読んでおきたい1冊。



必携！ 認知症の人にやさしいマンションガイド 多職種連携からみる高齢者の理解とコミュニケーション

監修：日本意思決定支援推進機構
発行：クリエイツかもがわ TEL：075-661-5741
定価：本体 1600 円＋税

分譲マンションの居住者の高齢化が進み、半数が 60 歳を超え、高齢者の関わるトラブルが増加しているという。本書では、そんなマンションでの「困りごと」事例を紹介し、認知症問題の専門家とマンション管理の専門家が事例ごとに支援や対応のポイントを解説する。

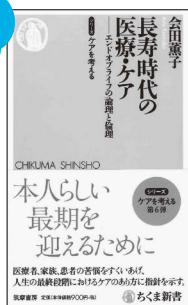


地域医療と多職種連携

著：藤井博之
発行：勁草書房 TEL：03-3814-6861
定価：本体 5000 円＋税

本書は、地域医療における多職種連携の発展過程、有効性と限界、影響する要因、効果的な連携の進め方を明らかにすることを目的としている。多職種連携の質を高める教育手法 IPE（多職種連携教育）に着目して佐久総合病院と医療法人財団健和会において取り組んだ研究をもとに、多職種連携の展開とその要因に迫る。

手軽な
+1



長寿時代の医療・ケア エンドオブライフの論理と倫理

著：会田薫子
発行：筑摩書房 TEL：03-5687-2601
定価：本体 900 円＋税

「生物学的に長生きすること」（長命）が「幸せに長生きすること」（長寿）を意味するために、医療とケアはどうあるべきか。本書は、その問いに臨床倫理学や老年医学の観点から迫る。